

☆。∴。★。∴。☆。∴。★。∴。☆。∴。★。∴。☆。∴。★。∴。

週刊 「宅老所・グループホーム全国ネットワーク NEWS」

《Vol.329 (通巻 374 号) 2010.6.24》

★。∴。☆。∴。★。∴。☆。∴。★。∴。☆。∴。★。∴。

~・♪~*・*~*・♪~*・*~*・♪~*・*~*・♪~*・*~*・♪~*

会員のみなさま、新会員のみなさま、こんにちは。

宅老所・グループホーム全国ネットワーク 2010 年度総会を、

6 月 16 日 (水) に開催いたしました。

ご出席いただいた皆さま、委任状の提出をいただいた皆さま、

ご協力をありがとうございました。

~・*~*・♪~*・*~*・♪~*・*~*・♪~*・*~*・*~*

…………… 今週のトピックス _____

- ◆ 1 ◆ 宅老所・グループホーム全国ネットワーク 2010 年度総会報告
- ◆ 2 ◆ 実践報告 特定非営利活動法人つどい場さくらちゃん (兵庫県西宮市)
- ◆ 3 ◆ 新聞記事
- ◆ 4 ◆ 事務局の動き

…………… _____

◆ 1 ◆ 宅老所・グループホーム全国ネットワーク
2010 年度総会報告 ◆◆-----◆

6 月 16 日 (水) 13 時より、東京都中央区月島区民館において、宅老所全国ネット 2010 年度総会を開催しました。総正会員数 (A・B 会員) 487 会員中、出席者 23 会員、委任状出席者 243 会員により、規定の過半数を超え、本総会が成立していることを報告。

議長には、「デイサービスセンターかざぐるま」の平ヶ倉文雄さん (大分県/B 会員) が選任され、議事録署名人は、「ゆいの里」の飯島恵子さん (栃木県/A 会員)、「グループホーム結」の加藤忠相さん (神奈川県/B 会員) が選任された。

その後、2009 年度の事業報告、2007 年度収支決算報告、2010 年度事業計画、2010 年度収支予算の各案が、それぞれ原案のとおり可決されました。

詳細については、後日郵送いたします議事録をご確認ください。

◆ 2 ◆ 実践報告
特定非営利活動法人つどい場さくらちゃん④ ◆◆-----◆

NPO 法人つどい場さくらちゃん（兵庫県西宮市）理事長 丸尾多重子さん
～認知症高齢者を在宅で支えるための、
地域の居場所やデイサービスなどの役割 4～

<家族を10年間介護した経験から、介護をする人には、いつでも集える場所と、温かい食事が欠かせないと考えて、つどい場さくらちゃんを開設し、7年がたちました。介護保険ではカバーできないつどい場の必要性を、行政も理解を示してくれるようになりました>

つどい場さくらちゃんには若年性認知症の方もいらっしゃいます。「デイサービスには行きたくないけれど、さくらちゃんにはおいしいものがあるから食べに行く」と、若年性認知症の方が奥様を連れていらっしゃいます。その方は真面目に仕事をされてきていて、周りの人から勧められるままに病院に行くと、「あなたは若年性のアルツハイマー型認知症です」と宣告を受けました。その方は、自分がどんどん壊れていく、長く生きられないという恐怖のなかで、午前中は新聞の社説をパソコンで入力し、午後には漢字をどんどん忘れそうだからと、自分の名前と家族の名前を何回も書いています。身体を鍛えなければならぬとプールに行きたくて体力づくりもされています。

奥様の前でも泣かなかったその方が、さくらちゃんに来て「悔しい」といって泣くんです。でも、さくらちゃんではどうもできないんです。どうもできないんだけど、本人の悔しさを代弁して、いろいろなところで語っていきこうと思っています。

認知症があろうが、体が不自由だろうが、まちに出て行くということが大事なことだと思っています。もう何十年も前ですが、私の家では、認知症になった祖母が這い回っていました。そのときは7人家族で、近所の人もしろいろと教えてくれました。家族関係、地域の力、いろいろな力が弱まっているところにちょうど介護保険制度が始まったと思っています。人と人が、家のなかですら出会わずに、一人で介護しなければならない。老老介護、認認介護といわれるように、家族の介護力がなくなっています。

さくらちゃんに来る人が、「施設の入居がいけないという感覚が、世間にはまだまだある」とよく言います。でも、実際はどうでしょうか。その人の介護力ではとうてい追いつかないのに、在宅介護を選んだために共倒れしてしまうこともよくあります。

あるご夫婦で、とてもいいな、と思う方がいます。ご主人が精神病院に2年ほど入院していて、60歳代なのに、まったく立てない、ものも言えない状態で特養の入居が決まりました。その奥様は、いま、毎日のように施設に行き、ご主人と一緒に昼食を食べています。逆デイ、逆ショート先が自宅です。ときどき、デイサービスのような感じで自宅に通っています。年末年始は、自宅にショートステイをされていました。施設入居が永久の別れではなく、施設と自宅を行ったり来たりしながら、その人の居場所を

つくっていくことがとても大事なことだと思います。(おわり)

※この実践報告は、2010年1月23日(土)~24日(日)、仙台市で開催した「地域の居場所・デイサービス全国実践交流セミナーin せんだい・みやぎ」での発表をまとめたものです。

◆ 3 ◆ 新聞記事 ◆◆-----◆

【東京都が外国人看護師・介護福祉士候補者受入れに緊急要望提出】

東京都は6月18日、外国人看護師・介護福祉士候補者の受入れについて、国に提出した緊急要望を公表した。おもな内容は以下のとおり。

1. 専門用語の言い替え及び注釈の付加、試験時間の延長など、看護師・介護福祉士国家試験の見直しを行うこと。
2. 国の助成金を活用して受講できる学習モデルを、日本語学校及び看護師・介護福祉士養成校と協力し、開発すること。
3. 候補者が、施設内研修開始前に日本語能力検定2級相当の日本語能力を確実に身につけられるよう配慮すること。
4. 受入施設の同意、知識及び技術の到達度等の要件を課したうえで、在留期間の更新回数の上限を延長し、国家試験の受験機会を拡大すること。
5. 受入施設の人的・経済的負担を軽減する措置を講ずること。

*詳細 ケアマネジメントオンライン 6月21日

<http://www.caremanagement.jp/modules/news/article.php?storyid=7602>

◆ 4 ◆ 事務局の動き ◆◆-----◆

5月26日 監事会：東京（監事2、代表世話人1、事務局2）

6月15日 福祉医療機構 宅老所の普及啓発事業 第1回研究委員会：東京（委員8、事務局2）

6月16日 2010年度総会：東京／月島区民館（世話人6、事務局2）

6月16日 会員研修会：東京／月島区民館（世話人6、事務局2）

6月16日 厚生労働省訪問（代表世話人1、事務局2）

会員数（6月21日現在）

A会員：225、B会員：236、C会員：95、E会員：1 会員総数：557

——登録の変更はこちら——

☆このニュースメールにご返信いただいても☆
☆事務局には届きませんのでご注意ください☆

=発行・製作=

宅老所・グループホーム全国ネットワーク

http://www.clc-japan.com/takurousyo_net/

宮城県仙台市青葉区木町 16-30 シンエイ木町ビル 1 階 〒981-0932

=お問い合わせ= takurousyo_net@clc-japan.com

TEL : 022-727-8731 FAX : 022-727-8737

☆TEL/FAX 番号は、くれぐれもお間違いのないよう、ご注意ください。☆

=相談専用アドレス= tnet_soudan@clc-japan.com
